

第72回 澁川摂食嚥下研究会レポート



日時：令和3年10月5日（火）午後7時00分～

会場：澁川ほっとプラザ4階

I 事例報告：『在宅における摂食嚥下ケアの実際』 訪問看護ステーション澁川



訪問看護ステーション澁川から在宅での実際のケアをもとにお話いただきました。

事例の患者様ご家族から「地域のためなら」とお写真・動画の使用許可をいただけたそうで、研究会を実施する上でそういった言葉は本当にありがたいと思います。

ご家族の協力のおかげで、口腔マッサージの方法なども実際に行っている様子を動画で見ることができたため、とても参考になりました。家族の想いと実際の患者さんの状況をみて、できることを叶えようという訪問看護師さん達の気持ちが伝わる事例でした。

後半は歯科衛生士の第一人者 高坂先生の講演です。どの医療・介護職も同じかと思いますが、コロナ禍の中、口腔ケアを行うというのは本当に神経を使うことだと思います。そのような中、実際に現場で行っている感染予防対策なども含めご講演いただけたことは今後の対応にも活かすことができるのではないのでしょうか。また、お口を触られるのを嫌がる人への対応など、患者さんへの温かいお声かけは他職種でも応用できるのではないかと思います。

II 講演：『明日から使える口腔ケア』

～コロナ禍の口腔ケア感染予防対策をふまえて～

講師：高崎総合医療センター 摂食嚥下認定歯科衛生士 高坂 陽子 先生

講演の中で、同日・同一入院患者に対して病棟看護師と歯科衛生士による口腔ケアスクリーニングを実施したところ、評価に差があったというお話をされていましたが、評価の差は歯科医師、歯科衛生士がどれだけ早期介入できるかという差につながります。この「評価する眼」をなるべく差がないようにしていくことも大事なのかなと感じました。

という訳で、ちょうど次回は「OHAT」アセスメント実習があります！OHAT(口腔アセスメント(評価))は、どんな職種の人が評価しても比較的同一の評価ができると言われていますが本当でしょうか。ぜひ参加してみてください。



参加者内訳

| 職種 | 参加人数 |
|-----------|------|
| 医師 | 2 |
| 歯科医師 | 5 |
| 歯科衛生士 | 10 |
| 薬剤師 | 1 |
| 保健師・看護師 | 12 |
| ST・OT・PT | 5 |
| 管理栄養士・栄養士 | 6 |
| 介護支援専門員 | 8 |
| その他 | 5 |
| 合計 | 54 |

| | |
|--------|------|
| Web参加※ | 35ヶ所 |
|--------|------|

※1ヶ所で複数名の参加あり

【次回 第73回 澁川摂食嚥下研究会の予定】

開催について：12月7日（火）午後7時～ 澁川ほっとプラザ4階/WEB同時配信予定

I. 事例発表 特別養護老人ホーム永光荘 介護支援専門員 石関 ちあき 氏

II. 『OHAT(オーハット)について』アセスメント(評価)実習

講師：群馬県立小児医療センター歯科部長 木下 樹 先生

※新型コロナウイルス感染状況により、延期または中止となる場合がございます。